

TOSS五色百人一首第23回大阪市内大会ルール

〈試合進行に関するルール〉

1. 「予選・決勝の試合」は、以下のルールにしたがって、選手たち自身で進める。
試合の途中で相手の意見がわれたり、その他困ったことがあった時はじゃんけん。
その時は、すぐに手を挙げて審判に伝える。
 2. 札は審判の指示があるまでさわらない。
 3. 札は自分の 10 枚をよこ5列たて2段に置く。
 4. 早くならべ終えたら試合開始までの間、札のうらを見てかまわない。
ただし、試合が始まったら、見ることはできない。
 5. 一度並べたら札の場所の移動は行わない。取って札が空いているところをつめない。
 6. よみ手は上の句と下の句を1回ずつよむ。
 7. 次の札をよみ始めたら、それ以前の札を取ることはできない。
 8. 両手のひらは、からだのどこかか、ひざよりうしろのたたみにつける。
 9. 頭は、場に並べた札よりも後ろにする。
 10. 両者が同時に札にふれたときはじゃんけんで決める。
 11. 「お手つき」をした場合、自分の取った札から1枚「場」に出す。
「場」の札は次の札を取った人が1枚だけもらえる。
2枚以上、場に出ている、一度にとれるのは一枚だけ。
 12. 札にさわれるのは1度だけ。1枚目ですべて決める。
2枚目にさわってしまっても2枚目の札は関係ない。
- 2枚さわった場合、次のようになる。
- ① 正解の札→間違いの札の順に2枚さわったとき
お手つきにならない。正解の札もとれる。
 - ② 間違いの札→正解の札
お手つきになる。正解の札もとれない。
 - ③ 間違いの札→間違いの札
最初の札だけお手つきになる。1枚だけ場に出す。
13. 1枚も取っていない場合のお手つきは、次の札の間一回休み。
 14. 17 枚よんだ時点で試合終了。取った枚数の多い方が勝ち。
同じ数の場合は、「同数ありませんか」と聞くのでその時に手を挙げる。
18枚目を取った方が勝ち。
 15. ルールに書かれていないことは事務局にしたがう。
 16. 事務局の決定は最終のものであり、異議を唱えることはできない。

<予選リーグ戦の進め方>

名簿をよく見て、自分の色、対戦組の番号を確かめる。

例えば、「青4」と書いてあれば、「4番のたたみ」に集まる。

1. 同じ色、同じ番号の人が総当たり戦を行う。
2. 4人組は3試合、3人組は2試合行う
(3人組の場合、1試合は見学または練習。どちらをするかは自由)
3. 勝ち数が一番多い人が決勝トーナメントに出場する。
残りの人は予選敗退とする。試合を見学するか、解散する。
4. 勝ち数が同じ場合は、直接対決したときの勝者がトーナメントに進む。
5. 3人の勝ち数が同じときなど、直接対決の結果でトーナメント進出者が決められないときは、3試合でとった札の数の合計で決める。
合計数が一番多い人が決勝トーナメントに進む。
6. 予選で勝ち残った人は次のものをもって、「本部」までトーナメントのくじを引きに行く。
①予選対戦表(試合結果が書いた紙) ②名前シール 必ず2枚とも持ってくる。
この2枚は、試合後、審判から渡される。
7. くじは本部に並んだ順に引く。

<決勝トーナメントの進め方>

くじの結果が、かべのトーナメント表にはられる。

自分が何番のたたみに行くか、番号をよく見て覚えておく。

見方がわからなければ、まわりのスタッフの先生に聞く。

1. 対戦はトーナメント表の組み合わせによって行う。
くじの結果によっては、1試合目は不戦勝(試合なしで勝ち)の場合がある。
2. 準決勝、決勝(3位決定戦)の2試合行う。
2試合勝ち残った人が優勝。
3. 準決勝進出者(4位以上)は表彰される。
表彰状と記念品が渡される。

<近畿大会について>

参加したい子どもたちによる、近畿最大の大会があります。

3/ 日(土)または 日(日) 市内大会までには確定しております。

奈良 大和郡山市立中央公民館 市立体育館(三の丸会館) 予定